

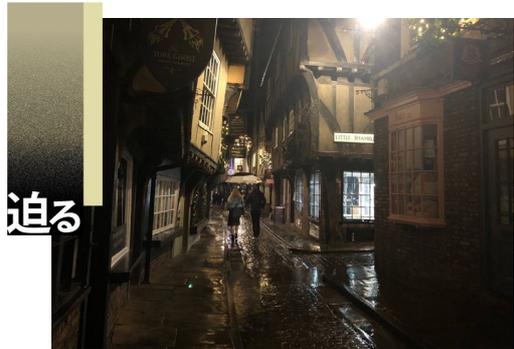


205

# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2024年4月7日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



映画「ハリー・ポッター」シリーズに登場する小道のモデルになったとされるシャンブルズ通り

英国の都市、ヨークでは「幽霊ツアー」なるものが毎晩開かれています。「幽霊が出る」といわれるスポットをガイドが案内してく

## イギリスの「幽霊」事情を探る

7日(日) = 1、3面

れるツアーで、著名俳優のモーガン・フリーマンもお忍びで参加したというほどの活況です。英国は今もオカルト人気が高いといい、そういえばハリーポッターも英国生まれです。原作者のJKローリング氏は母校の大学院に「魔法・オカルト学」研究に修士号を与えるコースを開設します。

こんな「オカルト好き」の背景にあるのは、中世以降、魔法を使って世を混乱させたと疑われた

女性を異端視し、「魔女狩り」として処刑してきた歴史にあるといっています。そもそもこの魔女狩りはなぜ長く、大量に行われたのか。その後、合理的で高い科学的知見で産業革命を起こし世界経済・産業をけん引した英国でなぜ、こんな不合理な魔女狩りが横行したのでしょうか。そんなナゾに迫ります。弊社きっての「ミステリーハンター」、ロンドン支局・篠田航一記者の執筆です。

## 特集 **ガイド**

### 右利き前提のストレス社会 左利きにも春を

9日(火) = 夕刊2面



大谷翔平選手が各小学校に贈ったグラブをはめ、構える子供たち。3個セットのうち一つは左利き用だ＝東京都荒川区で2024年3月14日、山崎明子撮影

♪私の私の彼は 左きき～ と麻丘めぐみさんが歌ったのは半世紀前のことです。耳にするたび憧れたものです。

ところが、右利き前提の令和社會を生きる左利きの我が息子には、期待

したようなラッキーなことはありません。

このモヤモヤする気持ちは何なのでしょう。日本左利き協会の発起人、大路直哉さんにぶつけてみました。



生殖機能を無くす手術を性別変更の条件とする性同一性障害特例法の規定を、最高裁が憲法違反とするなど、性的少数者（LGBTなど）の権利を守る司法判断が昨年、相次ぎました。法律や職場環境の見直しは今、突きつけられ

## 論点 広がる性的少数者への尊重

4月12日(金) || オピニオン面

生きているといえます。この判断を政治はどう受けとめているのか。社会にはどう浸透しつつあるのか。私たちはどうあるべきか。専門家や企業の担当者、当事者に見解を聞きます。

## プリツカー賞 日本人が最多受賞その背景は？

4月7日(日) = 総合面

「建築界のノーベル賞」とも呼ばれる米プリツカー賞に今年、建築家の山本理顕（りけん）さんが選ばれました。受賞理由は「建築を通して人々が集まり、交流する機会を生み出すことに成功している」。山本さ

んで日本人の同賞受賞者は世界で最多の9人に。

プリツカー賞とは、どのような賞なのでしょう。そして、日本人建築家が世界最多の受賞者数を誇る背景には何があるのでしょうか。



プリツカー賞に選ばれ、笑顔を見せる建築家の山本理顕さん＝東京都港区の米国大使公邸で2024年3月7日、北山夏帆撮影

新年度になりました。理想と現実のギャップに、がく然とし、なんでもこんなことになっていないの？ と戸惑う方もいるかもしれません。毎日新聞は、オンラインSラジオとイベント「ここが無理ゲー！ 今のニッポン」を開催します。社会の仕組みの「なんか変」に処方箋は……と前向きに考える企画です。モヤモヤしている方は、QRからぜひご参加ください。（石原聖）

